

FORZA 駒澤 選手紹介 PART6

金位漫 (4年・FW)

今回紹介するのは自称「駒大の太陽」こと金位漫選手。彼が途中交代で入りピッチに注入する「元気」は、いまや駒大にとって欠かせないものとなっている。しかし小中高時代は現在とは異なり、常にチームの中心としてその役割を担ってきた。朝鮮学校という環境のもとで、金位漫選手はどのようなサッカー人生を送ってきたのだろうか。

「金位漫か朴康造」かの小学校時代

お父さんがサッカー好きで、その影響で幼稚園の頃には気付いたら遊びでサッカーはしてました。正式にチームに入ったのは東京朝鮮第4中級小学校の2年生から。足立区の「ウィズ」というクラブチームにも行ってました。自分達のチームは全国の朝鮮学校では強い方で、一つ上の代が全国在日大会で優勝したりしてました。自分もそのチームに入れてもらってやっていて、それからが中学、高校と、この強い先輩達とずっと一緒にやるのが出来たんです。それはすごく楽しかったです。自分のためにもなったと思います。選抜とかは日本のチームの選抜じゃなくて、在日の全国選抜に入ってます。自分でいうのもなんですが、小中の頃は自分がキャプテンだったし、中心的な存在だったと思います。その頃は友達ってわけじゃないけど知り合いに朴康造、パクカンジョ、元京都パープルサンガ、韓国代表がいて、周りからは「在日は金位漫か朴康造か」と言われてました。自分は俺の方が全然勝つてると思ってたんですけど、でも後に高校で滝川二高とやった時は「うまい」と思いました。



朝鮮学校として初の選手権予選決勝へ

でも結局サッカーを選びました。東京朝鮮高校で選手権とが日本の公式大会には参加することが出来なかったんですけど、僕が高1の終わりにいろいろからそういったことが改善されていって関東大会とかは出来るようになりました。それは朝鮮学校にとって「目標が出来た」という面ですごくいいことでした。1年の頃の練習は丸坊主で、白の名前入りTシャツで走り中心。いくらか上手くても球拾いというものでしたけど、根性や体力は、今もですけど自信があったので、嫌になることはありませんでした。2年生の時は選手権も出れるようになって、それに対するチームのモチベーションというものは相当高かったです。だからベスト8の前になんか悔しくて泣いていました。熱い集団だったし、自分自身も選手権に対する憧れというのはありました。3年になって春のイギョラ杯で鹿児島実業高校を倒したり、関東大会でベスト8という成績を残していきうちに「頑張ればいけるんじゃないか」という手応えは感じていました。予選は本予選の前の地区予選からで、その一回戦で久留米高校との苦しい試合をPK戦でモノにする、それで波に乗って本予選決勝では国学院久我山高校にまたもPK勝ちして、決勝まで行きました。相手は帝京高校。朝鮮学校が日本の公式大会に参加権を得てから初めてのことだったので、周囲の盛り上がりはすごかったです。全然関係ない雑誌の「ゴゴゴ」とかにまで記事が載りましたもん。あとTV中継はうれしかったですね。試合はオフensiveハーフの僕が相手のポランチ、中田浩三現鹿児島アントラーズ、日本代表をマークするくらいに劣勢だったけど何とか守り抜いて、でも延長の末に負けてしまいました。負けた後は駒大でサッカーを続けることが決まっていたし、決勝まで来られたという満足感のようなもの、「あー高校が終わったというくらいさっぱりしたものでした。本当は負けて満足してはい

自分には運がある。駒大に来てよかった

最初は亜細亜大学に行く予定だったんですけど、お父さんの知り合いを通して駒大のセレクション用紙をもらって、それで受けました。正直無理だと思ってました。セレクションなんて未経験だったし。受かった時は本当にうれしかったです。最初は朝鮮学校というのには怖がられてた部分もあったし「友達できるかな」とかが不安だったけど、二人の朝鮮学校の先輩がいて、いろいろ面倒を見てくれたのが大きかったと思います。自分からも仲間間積極的に話しかけました。俺は寂しがりやだから必死でしたよ。試合は1年の春の関東選手権で、人がたくさんいていきなり盛田さんと2トップを組むことが出来ました。思えば入る前は「試合には4年間で1試合出ればいいくらいに思ってたけど、結構これまでにコンスタントに出させてもらっていて自分には運があるな」と思っています。試合に出してくれている秋田監督と出会ったことも含めて駒大に来てよかったなと改めて思います。

先発でなくもいい、スーパーサブになりたい

2年目に深井や巻が入ってきたとき正直「自分はスタメンじゃなくていいや」と思いました。あいつらには抜かれると思ったし、自分は技術で勝負できないから運動量とか気持ちの部分で勝負しよう。それなら交代出場で流れを変えたりするのも面白いと思いました。今は「スーパーサブ」になりたいです。インカレでリーグ戦の筑波戦(第13節)が、この舌巻をして、優勝を貢献しました。●きんいまん/1979年6月23日生まれ。176cm、66kg。東京朝鮮第4中級学校(小中)→東京朝鮮高。家族構成は父・母・妹・弟。好きな選手はR・バジジョ、ルート・フリット。好きな言葉は「ロイヤリティー」

ジェフ市原サテライトに快勝!!
11月4日に行われたジェフユナイテッド市原サテライトとの練習試合。三上選手の兄弟対決などが注目されたこの試合で駒大は5得点を奪い大勝した。メンバー等は以下の通り。
駒澤大学5-2ジェフ市原
得点者【駒】前2分中田、前5分那須、前19分深井、後6分深井、後12分小林久【ジ】後16分井幅、後30分井幅
メンバー【駒】GK 櫻井 DF 木村、小林久、那須、三上(HT 小林亮)MF 津村(後20増部)、中田(後12金)、高橋(後12中後)、森田 FW 深井、巻【ジ】GK 高橋(後20高木)DF 田畑、喜多、吉田 MF 長谷部、佐藤勇、三上、井幅 FW 上村(前30小山)、山本、佐藤寿/SUB 岡本、金、石井(ユース)、小林、山岸(ユース) ※市原 SUB の石井選手は来年の駒大入学が内定

木村誠から見た 金位漫
位漫が疲れてる時に入ってきて声をかけられると「頑張ろう」という気になる。自分に無いものを持つてるから少しうらやましい。技術的には基本がしっかりしてて、落としのパスはチーム1うまいと思います。

発行人 熊崎雅之
スタッフ 木ノ内隆
佐野晋作
岩田陽一
内田浩嗣
丹羽尊志
森田悠介
西村智子
山口諒子

～お知らせ～
FORZA 駒澤 BOX を駒澤大学駒澤校舎内の食堂にあるアイスクリーム売り場に設置しました。毎週金曜日に置いておくので、ご自由にお持ちください。

～大募集～
ハガキでもなんでもよいので意見・感想など大募集中!

FORZA 駒澤は毎週金曜日に大学内で配布中!